

所 属	健康福祉部	医療整備課
担当(係)名	医療整備担当	内線 2535

災害現場へ出動する災害派遣医療チームの体制強化 < 長期構想推進重点政策枠事業 >

1 事業費 【財源内訳】 【主な用途】
 2,654 一般財源 2,654 役務費 2,475 (保険料等)
 (前年度 1,729)

2 背景・現状

県は、災害被災地に迅速に駆けつけ、現場で医療活動にあたる「災害派遣医療チーム」(DMAT:ディーマット)の派遣に関する協定を、県内の災害拠点病院等と平成18年度以降順次締結しており、現在、6病院(岐阜大学医学部附属病院、中津川市民病院、県立多治見病院、木沢記念病院、大垣市民病院、岐阜県総合医療センター(協定締結順))で計10チームが編成されている。

3 事業目的

大規模災害時に、DMATが「一人でも多くの命を救う」ために必要な災害医療活動ができるよう、チーム数の増加を図るとともに、DMATを機能的に運用できる体制の整備を行う。

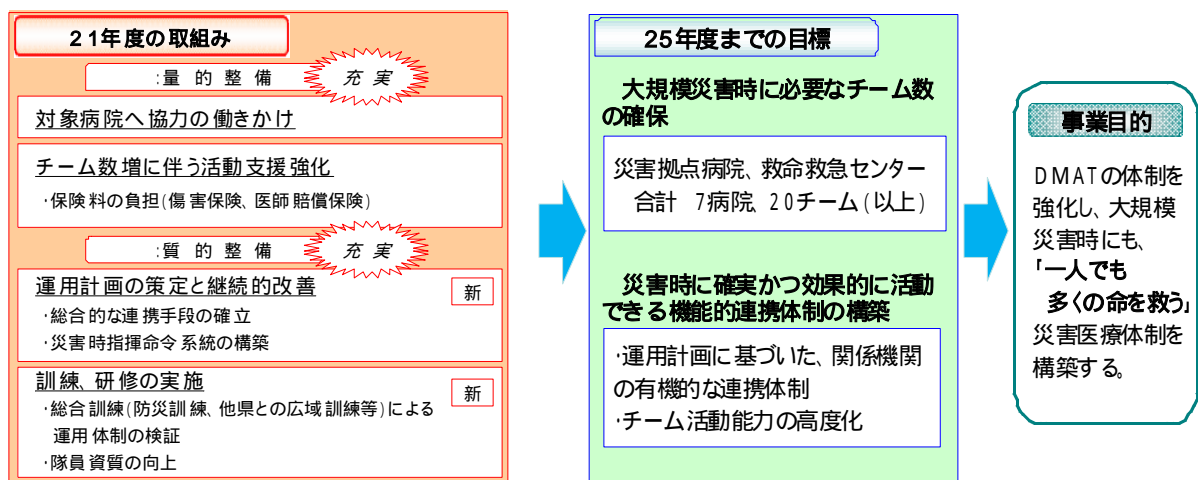
4 事業概要

大規模災害対応に必要なチーム数(平成25年度までに20チーム)の確保を推進するとともに、災害現場で医療活動に従事する隊員の保険料を負担し、DMATの活動を支援

- ・対象病院への働きかけ
- ・チーム数増加に伴う活動支援(隊員の保険料の負担)

確実かつ効果的に活動できる機能的連携体制を構築

- ・DMAT、救急医療機関、消防機関等の連携を促進する会議の開催
- ・実災害に備えた運用計画を策定し、継続的改善を実施
- ・訓練、研修の実施による隊員資質の向上、運用体制の検証を実施



(款)4 衛生費 (項)1 医務費 (目)(4) 医療整備対策費
 (明細書事業名) 災害医療対策費
 災害派遣医療チーム体制整備事業費